

2026 年 8 月 26 日
デンカ株式会社

ケミカルリサイクル由来の環境価値を割り当てたスチレン系製品の市場展開を加速

デンカ株式会社（本社：東京都中央区、社長：石田 郁雄）は、連結子会社である東洋スチレン株式会社において、使用済みポリスチレンを原料とする「リフレッシュ ポリスチレン®」(*1)の本格供給が開始されたことを受け、当社およびグループ会社において、ケミカルリサイクル由来のサーキュラー属性を割り当てたスチレン系製品群を順次拡大いたします。

デンカグループは、スチレン系資源循環システムの総合ブランド「D-NODE®」(*2)のもと、スチレン系材料の資源循環を推進しています。その取り組みの1つとして、当社および東洋スチレン株式会社は、使用済みポリスチレンを化学的に分解し原料（スチレンモノマー）へ戻し、スチレン系製品へと再資源化するモノマー化ケミカルリサイクル事業に注力しています。

このたびの、「リフレッシュ ポリスチレン®」の市場への本格供給の開始により、当グループでは、ISCC PLUS 認証におけるマスバランス方式(*3)に基づき、サーキュラー属性を割り当てたスチレン系製品ラインアップを拡充いたします。

これにより、現在展開しているポリスチレンに加えて、ポリスチレンの加工製品である二軸延伸ポリスチレンシート（BOPS）や食包シート、さらに連結子会社であるデンカポリマー株式会社が製造する食品容器へのサーキュラー属性の割り当てが可能となります。お客様は従来と同等の品質・性能を維持しながら、環境価値を割り当てた製品を選択いただくことが可能になります。

また、お客様のニーズに応じて、SBC 樹脂「クリアレン®」(*4)をはじめとした機能樹脂及びその製品分野への展開も視野に、活用領域の拡大を図ります。

今後もデンカグループは、ケミカルリサイクル由来製品の市場拡大と使用済みスチレン系製品の水平リサイクルを通じて、スチレン系材料の資源循環を推進し、環境負荷低減に対する社会やお客様のニーズに応えてまいります。

デンカはこれからも「化学の力で世界をよりよくするスペシャリストになる」というパーパスのもと、世界に誇れる化学で、人々の暮らしと社会に貢献し続けます。

以上

*1 「リフレッシュ ポリスチレン」は、東洋スチレン株式会社の登録商標です。

*2 「D-NODE」はデンカ株式会社の登録商標です。

*3 マスバランス方式とは、異なる原料（例：石油由来原料と廃プラスチック由来のリサイクル原料）が混合される場合に、特定原料の投入量に応じて生産する製品の一部にその特性を割り当てる流通管理方式です。

*4 「クリアレン」はデンカ株式会社の登録商標です。

【ご参考：関連過去プレスリリース(デンカ公式ホームページ)】

- ・ 2024 年 3 月 19 日 「“国内最大” の行政と連携したポリスチレンのケミカルリサイクルが始動」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1213/20240319_denka_ps_chemical_recycle.pdf

- ・ 2024 年 5 月 29 日 「千葉県市原市とポリスチレンケミカルリサイクルプラント稼働に伴う拠点回収に関する事業連携協定を締結」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1234/20240529_denka_ps_chemical_recycle.pdf

- ・ 2024 年 6 月 24 日 「当社及びグループ会社における国際持続可能性カーボン「ISCC PLUS 認証」取得について」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1240/20240624_denka_ISCC%20PLUS.pdf

- ・ 2025 年 4 月 7 日 「スチレン系材料の資源循環システム「D-NODE™」ブランドについて」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1297/20250407_denka_%20dnode.pdf

- ・ 2026 年 4 月 27 日 「千葉県市原市の大型ショッピングモールにおける飲用後のヤクルト容器の回収およびケミカルリサイクルを開始」

https://www.denka.co.jp/storage/news/pdf/1398/20260427_denka_scr.pdf

【報道関係者からのお問い合わせ先】

コーポレートコミュニケーション部 電話：03-5290-5511

【お客様からのお問い合わせ先】

ポリマーソリューション部門 事業推進部 電話：03-5290-5565